

第 6 回「地震・防災リレーセミナー」開催報告

REIC では、防災意識の向上と幅広い防災・減災対策の推進に資する目的で「地震・防災リレーセミナー」を、地震予知総合研究振興会(ADEP)と共催で定期的を開催しています。

その第 6 回が、12 月 20 日(金)17:30~19:00、ADEP の会議室にて開催されました。講師は株式会社シグネット取締役で REIC 常務理事の山口耕作氏、講演題目は「緊急地震速報 6 年間の実績」です。

山口氏は、明星電気株式会社勤務時代、主に気象観測機器等の開発に従事してこられました。これまでに、デジタルテレメータとコンピュータによる収録・処理を行う地震観測装置や自動震源決定システムなどを開発、北大、東大地震研、気象庁などに納入実績があります。

講演は地震の基礎知識から始まり、緊急地震速報の仕組みや、2007 年 10 月に実運用されてからこれまでの 6 年間の実績評価についてお話頂きました。

緊急地震速報には、直下地震や大地震の後に多発する余震に対応できない等、解決を要する多くの課題(技術的限界)があること、またそれを踏まえて、今後他の方式も含めてどのように活用すれば防災・減災効果を発揮できるかについて解説して頂きました。

第 7 回は、平成 26 年 2 月 21 日(金)17:30~19:00、会場は同じく ADEP の会議室で開催する予定です。講師は防災科学技術研究所の臼田裕一郎氏。講演題目は「情報を活用した官民協働型の地域防災」です。